



新年の成田山総門



新年おめでとうございます。  
下志津病院では近頃、トピックスが続いています。

まず昨年12月にリウマチ膠原病センターを設置し、杉山特命副院長がセンター長に就任しました。このセンターには内科系と整形外科系および小児科のリウマチ専門医が集まっており、多くの患者様を診療しております。

次に本年1月には禁煙外来がスタートしました。当院小児科で喘息患児の親の禁煙指導から外来を始める予定です。

また、電子カルテの導入を4月に予定しています。このため、昨年からの電子カルテの決定、当病院にあわせての変更そしてなによりも全職員がカルテを使いこなすための練習に励んでおります。

電子カルテになりますと、診療の方法が根本的

に変わりますので、その最初の数ヶ月は、やはり、外来などに時間が相当にかかることが予想されます。また、検査なども余計に待ち時間があるかもしれません。しばらくすると、慣れてきて、やはり、便利で利便性が良くなると思っています。この最初の数ヶ月は患者様にご迷惑がかかるかもしれません。どうぞ、よろしくお願いいたします。

近頃は急性胃腸炎やインフルエンザなどがはやっておりますので、皆様にはうがい、手洗い、マスクで予防していただきたいと存じます。もし、下痢、嘔吐や発熱、せきなどがありますと入院患者様のことを考え、病棟へおいでいただくのをご遠慮願うことがありますのでよろしくお願いいたします。

今年も一年つつがなく過ごすことを願っています。また、今後も患者様により良い病院をめざしたいと考えております。

院長 末石 眞

年末恒例

## 重症心身障害病棟・筋ジストロフィー病棟の病棟行事

師走、一年の終わりが近づく頃、重症心身障害病棟・筋ジストロフィー病棟ではクリスマス会や忘年会が開催されます。昨年暮れ、病棟ごとに趣向を凝らした内容が企画されました。保護者やボランティアも加わり、どの病棟もあたたかな雰囲気です。利用者様からはワクワクした期待感が漂いました。一所懸命な出し物には盛大な拍手が送られ、職員の出し物には会場のあちこちから笑い声があふれました。

各病棟を担当する療育指導室職員は、開催に向けて早々と準備を始めます。陰に日向に、時には利用者様と共に話し合いを重ね、楽しい時間を創り出すのです。

一年を締めくくるに相応しい行事をこれからも開催していきたいと思います。

主任児童指導員 木明 香子



8病棟ゲストシニアアンサンブルの皆様



8病棟忘年会



10病棟より「よいお年を」



忘年会満喫中の11病棟の皆様

## 新職員紹介



初めまして。整形外科の玉井です。昨年10月に下志津病院に転勤してまいりました。前任地の茨城県神栖市からこちらに赴任して3か月たちましたが、ようやくいろいろなことに慣れてまいりました。

当院では整形外科のスタッフが充実し症例も多く、実りある勤務医生活を送らせていただいております。

私の専門は関節外科（とりわけ膝関節外科）とりウマチ外科で、人工関節や関節鏡の手術を中心にやらせていただいております。

お膝の痛みやリウマチで手足の関節の痛みにお悩みの患者様がいらっしゃいましたら是非ご相談ください。お待ちしております。

整形外科医長 玉井 浩

## —感染防止対策室・感染制御チーム（ICT）の紹介—

感染防止対策室では、患者さま、職員、病院を訪問される方を院内感染から守り、安心して入院生活を送ることができるように、院内の各組織と連携を取りながら活動を行っています。

感染防止対策室には、感染対策に関する専門的な知識を持った専任医師、専従看護師、専任薬剤師、専任検査技師を配置しています。この4名を中心とした感染制御チーム（Infection Control Team：ICT）により、常時、院内感染症の発生状況を監視するとともに、毎週、定期的に院内感染防止対策について検討し、現場への指導を行って、感染拡大を予防しています。

また、最新の感染防止に関する知見に基づいた手順書を作成し、全職員が遵守するよう各部署の感染対策の実施状況を確認しています。

そして、全職員を対象に、病院内外からの講師による感染対策講演会を開催し、自己研鑽に努め感染予防を徹底し、安全な医療の提供と安全な職場環境の構築を行っています。

今年度より、他の医療機関と感染対策等に関する情報共有など連携を取り、地域の感染対策の向上に努め、安全な医療の提供を目指して活動しています。

## —冬場の感染症：感染性胃腸炎（ノロウイルス）の感染対策について—

【流行期】ノロウイルスは、冬から春先にかけて発生する感染性胃腸炎や食中毒の原因ウイルスのひとつです。最近では1年を通じて発生が確認されますが、12月～3月が発生のピークになります。

【主な症状】吐き気や嘔吐、下痢です。症状の継続は3日程度と短いですが、体力の弱い乳幼児では脱水症などにより重症化する場合があります。また、高齢者や寝たきりの方では嘔吐から誤嚥性肺炎を発症し、生命に関わることもあります。

【感染対策】ノロウイルスは感染した人の嘔吐物や便の中に大量に存在しているため、特にこれらの適切な処理と手洗いが重要です。処理方法としては85℃で1分以上の加熱や次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が必要です。そして、症状が出ている人はもちろん、予防の基本として、外出先や家庭でも日頃から、「食事（調理）のまえ」「トイレのあと」に石鹸を使った手洗いを確実に行うことが重要となります。



## —冬場の感染症：インフルエンザの感染対策について—

【流行期】インフルエンザ流行のピークは、その年により多少違いはありますが、1月下旬から2月初旬に集中する傾向があります。

【主な症状】悪寒、倦怠感、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身の症状が強く見られます。咳などの気道症状もみられます。肺炎や脳炎などを合併することもあり、重症化する場合があります。

【感染対策】インフルエンザは発病する前日から発病後3～7日間程度は感染力があると言われています。（学校保健安全法では、発症後5日かつ解熱後2日の出席停止。ただし、幼稚園児は解熱後3日出席停止）せきやくしゃみなどとともにインフルエンザウイルスが飛散し、それを吸い込むことや、ウイルスがついた手で目や口を触ることで感染します。そのため、「マスクの着用」はウイルスの侵入を完全に防ぐことは出来ませんが、ウイルスのついた手で口や鼻を触る機会を減らし、感染を防ぐ効果があります。また、すでにインフルエンザにかかってしまった場合も、他の人に移さないため「マスクの着用」が推奨されています。そして「手洗い・うがい」の他に「人込みをさける」ことや、十分な換気も重要となります。



これらの冬場に流行する感染症は短期間で大勢の方に感染が拡大する可能性があり、これを防止するため、感染防止対策室では数々の対策に取り組んでおります。対策の内容は多岐にわたり、みなさまにもご協力をお願いすることもあるかと思いますが、ご理解の程、お願いいたします。

# 16列マルチディテクターCT (SIEMENS社 SOMATOM Emotion 16) が導入されました。

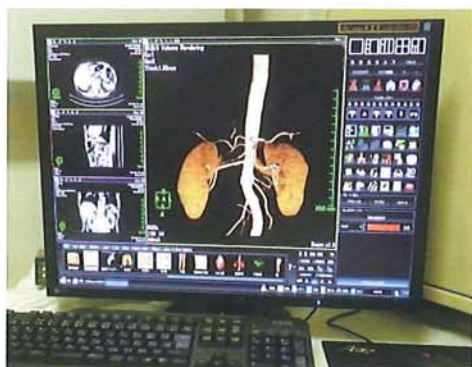


SEMENS SOMATOM Emotion 16

当院のCT装置が更新され、平成24年12月27日より、新装置が稼働しました。このマルチディテクターCT装置導入により、以前の装置に比べ短時間で質の高い撮影が可能となり、より被ばくを少なくした質の高い検査を行うことができるようになりました。

また、最新鋭のネットワーク型3Dワークステーションも導入されました。春より稼働の院内情報システムと連携し、院内中の画像ビューアで、医師自身が診断のニーズに合わせた3D画像の作成や閲覧を行う事が可能となり、当院の医用画像環境は最先端なものに生まれ変わります。

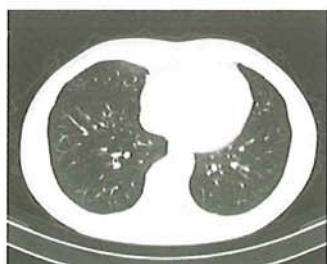
なお、当院では、医療機器の効率的な運用を進め、より質の高い医療を地域の皆様に提供するため「病診連携」を積極的に進めています。今回更新されたマルチスライスCT装置も、是非とも地域の先生方にご活用していただきますようお願いいたします。



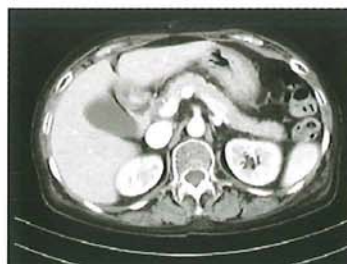
AZE 風神Anatomia (ネットワーク型3Dワークステーション)



頭部



胸部



腹部 造影



腹部 造影

## 市民公開講座

### 講座

当院では、四街道市保健センターで市民公開講座を開催しております。今回は、10月から12月に行われた講座の内容を紹介します。

#### 「糖尿病」

平成24年10月23日(水)に行いました。平日にもかかわらず、約30名の市民がお集まりになりました。糖尿病の疫学、病態、合併症、治療など盛りだくさんの内容を90分という短時間でお話したのですが、熱心に聴いていただきました。話の内容は次のごとくでした。

- ① 糖尿病患者は増加傾向にあり、血管障害を主体とする合併症のために、「生活の質」が低下するだけでなく、寿命も短くなっている。
- ② 糖尿病の重大な合併症のほとんどは血管障害であり、「血管を障害されない」ようにうまくつきあうことが大切である。そのためには、血糖を高すぎる状態にしないことが重要であり、検査成績ではHbA1c(グリコヘモグロビンエーワンシー)を8%以下、できれば7%以下に抑えるのがよい。
- ③ 治療は、食事療法、運動療法、薬物療法のことについてお話ししましたが、「1に食事、2に食事、3、4がなくて5に食事」と、食事療法の重要性を強調しました。 名誉院長 吉田 孝宣



#### 「薬とサプリメント」

平成24年11月8日(木)に行いました。約30名の参加者にお集まりいただきました。

近年、自己管理の意識が高まり運動を行ったり食事に気を遣ったりする方が多くなっています。中でも、手っ取り早く手軽に健康を維持しようと考え健康食品やサプリメントなどを使う方も多いのではないのでしょうか。でも、ちょっと待って下さい。健康食品には使い方を間違えたり、あるいは粗悪な物の服用により死に至るようなケースがあることをご存知でしょうか？

特定保健用食品(トクホ)や栄養機能食品などを効率良く摂ったり、何百何千と種類のある健康食品の中から品質の確かなものを選んで使っていただくことは健康管理にとっても重要なポイントです。健康食品やサプリメントを使用する際には、専門家のアドバイスを受けるなどして上手にお使い下さい。

千葉医療センター 副薬剤科長(元 当院 副薬剤科長) 山口 正和

#### 「知って安心・病院の検査(生理機能検査編)」

平成24年12月12日(水)四街道市保健センターにて臨床検査技師が行う生理機能検査についてお話させていただきました。生理機能検査ってなに?という話題から、それぞれの検査目的や方法、注意事項、検査結果の見方などの内容で進めてまいりました。会場からの質問もたくさんいただき、「聴力機能で音としては認識できるが言葉として聞き取り難いのはなぜか」「これから先も肺機能を維持していくために日常できることはないか」など高齢者にとって切実な内容から「当院診療科の特色を教えて」といった今回のテーマとはちょっと離れた質問もあり、あっという間に予定の時間となりました。

健康維持には生理機能を正常に保つことが重要ですが、年を重ねるごとに機能は低下すると言われていています。特に病気の心配がなくても自分が現在どのような健康状態にあるのかを知るため、定期的な検査が大切です。

臨床検査科 貝沼 裕昭



昨年6月に、受動喫煙をテーマに市民公開講座を開催しましたが、今年1月より当院にて禁煙外来が始まりました。完全予約制となっていますので、地域医療連携室(内線238)にご連絡下さい。

## 小児院内認定専門看護師

当病棟では、小児喘息、高度肥満症、食物アレルギーで長期入院している患儿が、入院生活を送りながら隣接する特別支援学校に通学しています。また、近年では、NICUの後方支援病院として重症心身障害児も受け入れています。小児院内認定専門看護師は、喘息児に対し、発作時の対応の仕方、環境整備などを指導、肥満児に対しカロリー計算の方法や規則正しい生活の必要性などを指導しています。また、食物アレルギーのある児に対して食物負荷試験や経口免疫療法の介助・指導を行うことで、アレルギーのある食物を少しずつですが食べられるようになってきます。

3病棟 船戸さつき 森脇 藤子 生澤 敦子



小児院内認定専門看護師

## 一般名処方について

厚生労働省は、平成24年度診療報酬改定で後発医薬品の使用を一層促進するとともに、調剤薬局における後発医薬品の在庫管理の負担を軽減するため、医療機関において一般名処方せんの交付した場合に加算を算定できることとしました。

一般名処方せんとは、後発医薬品が存在する医薬品について、商品名に代えて「一般的名称」に剤形及び含量を付加した記載による処方せんをいいます。「一般的名称」については、添付文書における有効成分の一般的名称を基本としつつ、これをもととした販売名も参考にして一部簡略化したものもあります。厚生労働省は、平成24年7月に標準的な記載例として一般名処方マスタの整備（949品目）を完了しました。

当院も平成24年7月から当該マスタを使用して院外処方せんの一部を一般名で発行しています。

一般名処方すれば、患者さまは「先発医薬品」を選ぶことも出来ますし、「後発医薬品」の中からも自由にお薬を選択することが出来ます。ただし、調剤薬局では、すべての後発医薬品を取り扱っているわけではありません。患者さまは、先発医薬品との価格の差などを含め、かかりつけ調剤薬局の薬剤師と相談してお薬を選択することになります。

以上のことより、一般名処方についてのご理解とご協力をお願いします。 薬剤科長 高地新八郎

## リハビリテーション科 心理室

Q心理室ってどんなところ？

「言葉が遅れている」「コミュニケーションが苦手」「落ち着きが無い」「学習についていけない」「集団行動が苦手」といったちょっと気になるお子さんがいます。心理室では、そういったお子さんの発達検査を行い、必要に応じてカウンセリングを実施しています。

ご希望があれば、学校などの関係機関とも連携してお子さんへの支援を行っています。また子どもだけに限らず、治療の中で必要に応じて成人の方の神経心理学的評価もおこなっています。

Q検査でなにが分かるの？

検査では、その方の発達や認知的特徴（得意・不得意の傾向）をみることが出来ます。それをもとに日常生活や学習で活かせる手立てを一緒に考えていきます。

Qどんな人がいるの？

現在心理室には、臨床心理士が2名在籍しています。小児科の医師やリハビリテーション科の職員と連携をして支援を行っています。

Qどうやったら心理室にかかれるの？

外来を受診し医師にご相談ください。

心理療法士 坂本 直子 上原 美紗

## ●消防訓練●

12月12日(水)に消防訓練を行いました。今回は10病棟看護師休憩室から出火という想定で、通報訓練、初期消火訓練、救助袋による避難訓練等を行いました。

今後も定期的に訓練を行っていきます。

庶務班長 萩原 宏一



消防訓練の様子

# 巨木を訪ねて



## 加茂の大楠

四国の大河吉野川の右岸の平地に一人立っている。日本で最高と思われる美しい巨樹です。源平の頃からその存在が知られていた。昭和になりまわりが開発され一時樹勢が衰えたが、周りの水田などに土をいれてから元気になっている。もう30年ほど前にはじめて訪れた時より明らかに勢いがよい。めでたいことだ。

徳島県東みよし町加茂1482番地

樹齢：約1000年、根廻り：23.35m、樹高：26m

訪ね人：末石 真



### 【看護職員募集のお知らせ】

- 応募資格 ①平成25年3月に看護師養成機関を卒業見込みの方  
②看護師の資格を有する方

- 勤務内容 病棟・外来での看護業務

### 【奨学金制度について】

- 対象者：正看護師養成所・学校に入学される方、または在学中の方  
年間50万円 看護学校卒業後、一定期間看護師として当院へ勤務した場合、返済が免除となります。詳しくは、当院ホームページをご覧ください。またはお問い合わせ下さい。

- 施設見学 当院見学を希望される方は下記までご連絡下さい  
副看護部長 近藤 才子  
TEL：043-422-2511（内線720）  
E-Mail：fukukango@simosizu2.hosp.go.jp

# 外来診療担当表

受付時間

8:30~11:00

平成25年1月4日現在

区分	月	火	水	木	金
内科 (一般内科) (リウマチ科) (消化器内科)	杉本 古川 平松 富沢	山崎 古川 末石 岩本(AM)	吉田 古川 富沢 末石 平松(AM)	杉山 杉本 篠崎 横山	杉山 杉本 小林(干) 本田 平松
睡眠時無呼吸外来			梅岡(PM) (第2・4のみ)		
禁煙外来				鈴木(修)	
神経内科	(休診)	本吉 三方	本吉	(休診)	本吉 三方
小児神経科	大森	(休診)	石原	(休診)	(休診)
小児科	西牟田 渡辺 中村 鈴木(修) 眞山	西牟田 根津 松浦 佐藤(AM) 鈴木(由) (予約のみ)	山本 根津 玉地 西牟田 (新患のみ)	小田 渡辺 中村 佐藤	鈴木(由) (予約のみ) 石原 中村 鈴木(修) 須藤
アレルギー科		佐藤(PM)			
外科	一木	白井(10:00まで) 一木(10時~11時)	一木	長谷川	白井
整形外科	山中 佐々木 玉井	鈴木(宗) 玉井	(交代制)	小林(達) 稲毛 西能 山中 } 隔週	鈴木(宗) 小林(達)
リハビリ テーション科	三方(指定する日)				

※ リウマチ科の初診の方は、月~金まで診察日となりました。

※ 小児神経科の初診の方

※ 小児科の食物アレルギーと喘息評価宛の紹介状をお持ちの方

完全予約制となっておりますので地域医療連携室  
(内線238)へお問合せ下さい。

**四街道市 乳児健診** 健診は、第1・3木曜日14:00から行います。健診当日は13:30~14:00までに受付をお済ませください。予約は企画課(医事)窓口と電話にて受付しています。予約受付は、平日13:00~17:00までです。

**四街道市 乳がん検診** 検診は毎週火曜日・金曜日に行います。検診当日は予約時間の5分前までに受付をお済ませください。予約は企画課(医事)窓口と電話にて受付しています。予約受付は、平日13:00~17:00までです。

**睡眠時無呼吸 専門外来** 第2・4水曜日、14:30~17:00に行います。受診日の16:00までに受付をお済ませください。予約はお取りしておりません。(休診の場合もありますので、事前にご確認ください。)

**乳腺外来** 毎週金曜日、13:30~15:00に行います。受付時間は、13時~15時です。予約はお取りしておりません。(休診の場合もありますので、事前にご確認ください。)

**禁煙外来** 毎週木曜日、14:00~16:00に行います。初診・再診とも完全予約制です。地域医療連携室(内線238)にご連絡ください。



■JR 四街道駅

北口下車 徒歩8分

JR 総武本線東京駅(千葉経由)から四街道駅まで約50分

■京成白井駅

京成電鉄京成白井駅から千葉グリーンバス

「四街道駅行き」に乗車(約25分)「消防署前」下車、徒歩1分

●東関東自動車道

「四街道インター」から約5分(3Km)



独立行政法人 国立病院機構 **下志津病院**

〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡934-5  
電話: 043-422-2511 FAX: 043-421-3007  
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~simosizu/>  
携帯サイト <http://www.hosp.go.jp/~simosizu/m/>



第13号

平成25年1月発行

発行責任者 末石 眞  
編集委員長 山本 重則